

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(一)借宿小諸線・(一)信濃追分(停)線		
事業毎の通番		8	市町村名	軽井沢町	箇所名(ふりがな)	追分(おいわけ)	
事業概要	事業目的	本路線は、国道18号の追分(借宿)を起点とし、小諸市へと繋がる地域の生活基盤を担う重要な路線である。観光シーズンや国道18号の混雑時の迂回路として、地元住民や観光客に利用されている。しかし、当該区間は、狭隘で湾曲・屈曲し縦断勾配も急なため、混雑時及び冬季間は、車輛の対面交通が困難となっている。当該事業では、狭隘区間及び交差点形状の改築により円滑な交通の確保と観光支援を図るものである。					
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法		
	関連する事業、計画等	借宿バイパス線新設改良計画(軽井沢町事業)					
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量:6,829台/日					
	着手年度	平成27年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	3.6	国庫	その他	県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路改築工L=760m W=6.0(9.75m)			500,000	300,000	180,000 20,000
	年度事業内容(主な工種)						
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 8億円				
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	○計画自動車交通量:6,829台/日 ○代替道路の有無:代替道路(国道18号)があるが事故多い ○観光地アクセス:観光地へ通じる道路(軽井沢高原) ○地域の活性化:軽井沢中心地へのアクセス向上による市街地の活性化に資する				評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合:借宿バイパス線新設改良計画(軽井沢町事業) ○緊急輸送道路の路線指定:なし ○地域指定:なし				評価	C
	効率性	○費用対効果(B/C):2.3 ○事業期間:6年 ○代替案の検討:VE(バリューエンジニアリング)を実施し、ルート選定の段階からVEの手法によるコスト削減を図っている ○他事業との関連:借宿バイパス線新設改良計画(軽井沢町事業)、(国)18号渋滞対策				評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数:人or自転車×自動車事故発生 3件以上 ○危険箇所対策: ○歩道整備:通学路対策(西部小学校への通学路) ○現況の幅員、半径、勾配:現況幅員5.0m				評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有:関係者を中心に周知 ○地域の取組み:接続する町道バイパス整備に積極的に取り組んでいる。 ○地域の合意形成:事業目的について合意形成が図られているが、整備手法について地域の合意形成が得られていない ○住民との協働:住民関与が低い事業				評価	C
	部意見	事業の必要性、効率性、緊急性が高いが、地域の合意形成など計画熟度が低いため、事業化を見送りたい。	行政改革課意見	必要性が認められる。	評価結果	総合評価	

【位置図】



【平面図】



・当該箇所は幅員が狭く、歩道も未設置。また、当該箇所の先で軽井沢町が町道の新設を進めており、交通量の増加が予想される。また、しなの鉄道に架かる倉賀橋も老朽化しているため、当該箇所を改良し交通の円滑な流れを確保する。

【写真】



①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本路線は、(国)18号の追分(借宿)を起点とし、佐久市へと繋がる地域の基盤を担う重要な路線である。観光シーズンや(国)18号の混雑時の迂回路として、地元住民や観光客に利用されている。しかし、当該区間は狭隘で湾曲・屈曲し縦断勾配も急なため、混雑時及び冬季間は車輛の対面交通が困難となっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	交通の流れとしては、借宿小諸線と信濃追分停車場で先線が町道にもかかわらず、その町道へ過大な交通量が流れ込むため渋滞・騒音・物損人身事故が地元住民の共通の認識で通年地元要望が強い。その先線となる町道の新設計画が地元で提示されたため地元要望が再燃した。
③事業説明等の経緯	平成25年10月29日、平成26年2月27日、平成26年3月26日に説明会を実施。また軽井沢町の事業については、平成24年3月2日に軽井沢町により全町対象に町道計画が説明された。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	軽井沢町町道新設計画との整合を図り、通過集落内の渋滞・騒音解消と共に観光シーズンの国道18号の渋滞対策迂回路としての道路整備を行う。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	構造物ではなく、土羽構造による緑化を図り環境へ配慮。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、市街地の活性化が期待される。
⑦その他	VE(バリューエンジニアリング)によりルート案を検討。

事業代表地点の緯度経度  
北緯:N 138° 33'27"87  
東経:E 36° 19'54"39